

梅毒治療用ペニシリン G ベンザチン (Bicillin® L-A)

Penicillin G Benzathine (Bicillin® L-A)

For Treatment of Syphilis

長時間作用型ペニシリン G ベンザチン (Bicillin® L-A) は、梅毒の治療に推奨される抗生物質です。一回の来院で、左右の腰部または臀部（場所はどこでも可）に、2 つに分けた一回分用量を筋肉注射で投与します。

早期梅毒の場合、バイシリン® L-A 240 万ユニット x 1 回が十分な用量となります。ただし、感染して一年以上、または感染期間が不明の場合は、3 回分用量が必要で、バイシリン® L-A 240 万ユニットを毎週一回、3 週間にわたって注射する必要があります。

アレルギー (Allergies)

- ペニシリンまたはセファロスポリンにアレルギー反応が出たことがある場合は、ご自身の医療提供者に伝えてください。
 - 例：ペニシリン VK、アモキシシリン (Amoxil®)
 - 例：セフィキシム (Suprax®)、セファレキシン (Keflex®)、セファクロル (Ceclor®)

妊娠および授乳 (Pregnancy and Chest/Breastfeeding)

- 授乳している場合は、ご自身の医療提供者に相談してください。
- 妊娠中または授乳期間中に梅毒と診断された場合は、治療を受けることが非常に重要です。
- 妊娠中に梅毒の治療を受ける場合は、特別な推奨事項や考慮すべき事項に関してご自身の医療提供者と話し合ってください。

注意 (Caution)

- **薬物相互作用：**薬物相互作用：個々の薬物の相互作用は、この文書には記載されなかったことにご注意ください。処方薬、非処方薬、ハーブ、またはレクリエーション薬物を服用している場合は、ご自身の医療提供者に相談してください。

治療後のケア (Care of Yourself After Treatment)

- バイシリン™-LA 注射後 15 分間はクリニックで待機してください。
- 治療後に反応が出た場合（発疹、痒み、呼吸困難など）は、スタッフに直ちに知らせてください。
- クリニックを出た後でこうした反応が出た場合は、すぐに緊急医療の助けを求めてください（911 に電話する、病院に行く、緊急医療センターに行くなど）。

副作用 (Side Effects)

- 注射部位に、一時的に軽い痛みがあるかもしれません。
- 治療後、下痢が起こることがあります。
- ヤーリッシュ・ヘルクスハイマー反応（発熱、悪寒、頭痛、または疲労感）が生じる人もいます。
 - ヤーリッシュ・ヘルクスハイマー反応は、初期梅毒の治療後数時間以内に起こる可能性のある一連の副作用です。この反応は、すべての人に起こるわけではありません。
 - これはアレルギー反応ではなく、通常 24 時間以内に収束しますので、心配しないようにしてください。
 - 必要に応じて、アセトアミノフェン (Tylenol®)、またはイブプロフェン (Advil®) を服用して症状を緩和してください。
 - 後期梅毒の治療後にこの反応が起こることは稀です。
- このような副作用が継続または悪化する場合は、ご自身の医療提供者に連絡してください。

梅毒の段階 (Stages of Syphilis)

- どのくらいの期間、体が梅毒に感染していたかにより、推奨される治療とフォローアップは異なります。感染した梅毒がどの段階なのか、またどのような治療が必要かについては、ご自身の医療提供者に確認してください。また、公衆衛生局の看護師から電話があり、パートナーのフォローアップやフォローアップ検査の推奨について話し合うこともあります。

ご質問または詳しい情報をご希望の場合は、www.smartsexresource.com にアクセスするか、またはご自身の医療提供者にご連絡ください。

SmartSex リソース：梅毒



BCCDC 健康情報：梅毒

